

鳥取中央有線放送株式会社 御中

発信元	琴浦町
担当課	農林水産課
担当者	武尾
連絡先	0858-55-7802
令和6年1月23日(火)	

「琴浦町農業研修生任命式の開催」

●新規就農者を確保するため、実施している琴浦町農業研修制度の研修生が1名決定したため、任命式を行います。

主 催 琴浦町（担当課：農林水産課）
日 時 令和6年2月1日（水）午前11時30分～午後0時00分
場 所 琴浦町役場本庁舎 防災会議室
出席者(予定) 琴浦町長 福本まり子
東伯農業改良普及所 所長 池田隆政
琴浦町農業委員会 会長 福田昌治
JA鳥取中央北栄営農センター センター長 櫻井章保
琴浦ミニトマト生産部 部長 高塚哲也
研修生（第4期生） 1名

事業紹介

平成30年度より、琴浦町農業の担い手不足、高齢化に歯止めをかけるため、琴浦町内に移住し農業を学ぶ研修生を対象に、地域おこし協力隊制度を活用した「琴浦町農業研修制度」を創設しました。

研修生は、2年間、生産部から選ばれた指導農家の下でミニトマト栽培を中心とした農業研修を行い、農業技術・経営知識等を学び、将来的な独立就農を目指します。また、研修期間中は、町が旧以西小学校2階部分を改修整備した、農業研修生用宿泊施設に宿泊します。

制度創設初年度である平成30年度は1名、令和元年度は2名、令和4年度は1名の研修生を受け入れを行いました。令和5年度は審査の結果、以下の1名の研修生を新たに任命することとし、町長から任命書の授与を行います。

研修生氏名	年齢	前住地	品目
金倉洋人（かなくら ひろと）	38	大阪府枚方市	ミニトマト

【琴浦町農業研修制度について】

1. 背景

農家の高齢化が進み、琴浦町においても農業後継者の確保が喫緊の課題となっています。

町内の生産部・農業関係機関と連携し、研修生の受け入れ体制、宿泊施設の整備など、新規就農希望者の独立・自営就農を支援し、地域農業の担い手を育成するための研修制度を創設しました。

2. 実施概要

本制度は、地域おこし協力隊制度を活用し、研修終了後は琴浦町内での独立自営就農を目指す新規就農希望者に対し、生産部から選ばれた指導農家の下で農業技術・知識等を学ぶ琴浦町独自の研修制度であり、平成30年度からスタートし、これまでミニトマト・梨での研修受入れを実施しています。

また、町が旧以西小学校の2階部分を研修期間中の宿泊施設として改修整備し、研修生に提供しています。

受け入れ実績としては、第1期生(H30)1名、第2期生(R1)2名、第3期生(R4)1名を任命し、この度、第4期生(R5)として1名を任命します。

農業研修生宿泊施設外観



農業研修生宿泊施設内観（単身用）



令和5年度琴浦町農業研修生任命式

と き：令和6年2月1日（木）

午前11時30分から

ところ：琴浦町役場本庁舎防災会議室

- 1 開会
- 2 任命書交付
- 3 町長式辞
- 4 研修生決意の言葉
- 5 来賓激励の言葉
- 6 来賓紹介
- 7 指導農家紹介
- 8 閉会

農業研修生の概要

研修生

1 氏名

金倉 洋人（かなくら ひろと）

2 前住地

大阪府枚方市

3 年齢

38歳

4 研修品目

ミニトマト

5 研修に至る経緯

大阪からの移住。以前から農業に興味をもち、就農を考えるようになる。

新・農業人フェア（大阪）等での就農相談、町内での農業体験・就農相談を重ねる中で琴浦町での農業研修受講を決意。

令和5年10月から鳥取県立農業大学校でアグリチャレンジ研修を受講し、研修開始に至る。